

ユネスコ未来共創プラットフォーム for 2030 ~UNESCOConnect~

目的

- ✓ 令和6年3月に日本ユネスコ国内委員会によってまとめられた提言において指摘された事項に対する重点的な取組を通じて、**国内外の多様な主体間の連携・協働・学び合いを活性化**させ、ユネスコの理念・ユネスコ活動を更に普及・促進していくことを目指す。
- ✓ 国際社会が一致して取り組む**SDGsの達成年限である2030年に向けて、令和2年度に開始したプラットフォーム事業を拡充し、ユネスコ活動を社会全体（Whole Society）で展開することにより、SDGs達成に貢献**する。

現状課題

「国際情勢等を踏まえたユネスコ活動等の推進についての提言」（令和6年3月 日本ユネスコ国内委員会）

- 現在の複雑な国際情勢下において、ユネスコの普遍的な使命である教育・科学・文化を通じた平和及び安全への貢献を再確認することが重要である。
- 国内におけるユネスコ活動の在り方について、①多様なネットワーク活性化、②認知度向上のための広報の強化、③ユース（若者）によるユネスコ活動の促進、④ユネスコ登録事業等における実施者の主体的かつ継続的な取組が求められている。



1. ユネスコ未来共創プラットフォームの運営

◆プラットフォーム事務局の運営

国内外の多様な主体間の連携を促進するため、本事業を総括し推進するプロモーター役を担う。

活動例：国内のユネスコ活動に係る情報の一元化、情報発信、異分野間、世代間のネットワーク作り、各ステークホルダーを巻き込んだイベント等の実施等

◆ユネスコスクール事務局の運営

国内に約1,000校あり、持続可能な開発のための教育（ESD）推進拠点であるユネスコスクールの活動支援（加盟申請、定期レビュー、研修会や全国大会の運営、国際交流推進事業（拡充））を実施する。

◆ユネスコ活動に関する調査研究

ユネスコ活動の活性化に向けた教育・科学・文化等の各分野に関する調査研究を実施する。

事業内容

2. ユースによるユネスコ活動活性化支援（新規）

ユースによる**多様なステークホルダーとの連携、ユースフォーラムの開催、研修会の実施、国際会議への参加等の支援**を通じて、ユースのユネスコ活動への主体的な参画を促すことにより、**ユースのネットワークを強化し、ユースの声をユネスコ活動へ反映するとともに、その成果を国内外に発信**する。

3. ユネスコ登録事業ネットワーク拠点運営

ユネスコ世界ジオパークのユネスコへの新規申請、再認定審査（認定後4年ごと）に係る業務、ユネスコとの連絡調整等を行う。
また、**事前の指導・助言及びネットワークを通じた研修会・情報共有等の実施**により、新規申請を希望する地域・認定地域への支援を行う。